

授業概要

幼稚園、保育所、認定こども園においてこれからの社会を担う個々の子どもの持つ能力を伸ばすために保育をどのように展開していったら良いのか。保育についての基本的な考え方を学ぶと同時に、基本的な方法・技術（情報機器及び教材の活用を含む）・教材の活用方法についての基礎的な知識・技能を身につける。

授業計画

第1回	ガイダンス（授業の進め方、評価方法などについて）／保育方法論とは何か
第2回	子ども理解にもとづいた保育方法と評価
第3回	子どもにふさわしい園生活と保育形態
第4回	養護と教育が一体となった保育の方法
第5回	環境を通じた保育の方法
第6回	遊びを通じた保育の方法
第7回	個と集団を活かした保育の方法
第8回	0・1・2歳児の発達に応じた保育方法
第9回	3・4・5歳児の発達に応じた保育方法
第10回	保育の計画・実践・評価
第11回	家庭・地域と連携した保育
第12回	小学校との接続のデザイン
第13回	ちょっと「気になる」子どもへの保育方法
第14回	インクルーシブな保育の実現
第15回	教材や情報機器を活かした保育方法
第16回	定期試験

到達目標

- これからの社会を担う子ども達に求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解できる。
- 教育の目的に適した指導技術を理解し、身につけることができる。
- 情報機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身につけることができる。

履修上の注意

授業では、意見やコメントを書くなどのワークや、内容に応じてグループディスカッション等も用いて進めていくので、積極的に参加すること。

予習・復習

各回の授業については事前に目を通し調べておくこと。授業の内容によっては、予習・復習を兼ねてレポートを課すことがある。

評価方法

授業での取り組み（60%）、定期試験（40%）によって行う。

授業での取り組みについては、授業で課すレポート等の評価および提出状況、授業への取り組み姿勢なども考慮する。

テキスト

テキストは特に指定しないが、適宜必要に応じて参考書などを紹介する。